

## 事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 11 月 1 日

事業所名 コペルプラス新浦安 教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0		
	②	職員の配置数は適切であるか	3	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	0	・2階にある為、階段を上る際には必要に応じて援助している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	0	・手洗いのイラストを提示し、視覚的にやることが分かるようにしている。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	0	・細かめに職員同士で共有、改善している。 ・職員同士話し合いをしやすい環境にするため、コミュニケーションをとるようにしている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	・改善出来るところは意見を踏まえて、より良い支援となるようにしている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	0		

	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の研修が行われている。</li> <li>・日々の療育の振り返りの共有や事業所で行う支援の方向性、行うことについて統一を図っている。</li> </ul>	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いが行われている。</li> <li>・コペルプラスの療育の特徴を活かしつつ、一人ひとりの成長・個性の理解を深めるところからアセスメントを行っている。</li> </ul>	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	0		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に子どもの姿と指導員の支援方法を見るようにし、保護者・子どものニーズ合わせて考察している。</li> </ul>	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の雰囲気に合わせて季節のイベントを計画している。</li> </ul>	

⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	・個人によって多少の工夫を行っている。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	3	0	・保護者の方のニーズに合わせて適宜内容を変更し、集団療育を実施している。 ・希望制ではあるが、室内で行う集団クラスを提案している。	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0	・記録を具体的な記仕方にすることや、拝領事項や伝達事項がある際の確認をしている。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	・終礼等で話し合われている。 ・評価だけでなく、考察の視点で考えていけるようにしている。そこから療育の質の向上に繋がっている。	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0	・職員間で支援について共通理解していけるようにすることを第一に考え、記録えお行っている。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	3	0	・モニタリング以外の日でも保護者との交流を心がけ、小さな変化も見逃さないようにしている。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0		
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	0	・各機関との連携を図っている。	
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	0	・現在は該当者なし。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	0	・現在は該当者なし。	
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0	3	・移行支援としては実施していない。	・通園先との情報共有をより行えるようにする。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	0		・就支援シートの作成及び、就学先の学校と直接話し合いをする場を設けた。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0		・他事業所へ見学訪問を行い、様々な支援方法について共有をして頂いた。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	3		・実施する場合はどのような取り組みがあるか考える必要がある。

	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	0	意見交流の場に参加している。	
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	通所された際には、必ずお声をかけるようにしている。	
	㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	0	事業所内相談支援として定期的に実施している。	
保護	㉛	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0		

者 へ の 説 明 責 任 等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	0	計画を提示する際には、取り組み内容の説明を細かく行っている。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	話しやすい環境と雰囲気づくりを心がけている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	0	お茶会と称して保護者の交流会、卒業された家庭の保護者を招いて就学に向けての相談会を行っている。	
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0		
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0		
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	3	0		
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	3		・育児相談等の御利用者以外も参加出来る場を設けられるように検討する。
非 常 時 等 の 対 応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3	0	・年2回で行われている。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0		
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	3	0		

④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	3	・現在は該当無し。	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0		
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0		
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	0	契約時に説明を行っている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。